

基本構想・後期基本計画検討資料（島田市の現状・課題認識・まちづくりの方向性など基礎資料集のポイント整理）

参考：資料3 SWOT分析

島田市をとりまく状況、現況動向等

島田市をとりまく状況等

参考：資料2 基礎資料集
P.1~P.13

【時代潮流】

- 人口減少・少子高齢社会の進行
- 価値観の多様化とポストコロナへの対応
- SDGsの実現に向けた取組
- 環境問題の進行 ○安全・安心意識の高まり
- 惹きつける個性を生かした魅力づくり
- 教育や子育てに対する関心の高まり
- 地域経済を取り巻く環境の変化
- 社会資本の老朽化 ○多様な主体との連携
- 住民参画・協働意識の高まり
- デジタル化の進展、Society5.0社会の実現
- コンパクト・プラス・ネットワークの推進

【近年策定の上位・関連計画】

- 国土利用計画（島田市計画）（平成30年3月策定）
- 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月策定）
- 島田市都市計画マスタープラン（令和2年3月改定）
- 島田市中心市街地活性化基本計画（令和2年3月策定）
- 静岡県総合計画（平成30年3月策定）
- 静岡県国土利用計画第5次（平成29年3月策定、平成30年3月変更）
- 島田都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成28年4月策定）

島田市に関する市民意向等

【市民意識調査（令和2年度）】

- 島田市を好きな市民の割合
・H30:67.9%→R2:69.4%
- 住みよいと思う市民の割合
・H30:85.1%→R2:85.5%
- 住み続けたいと思う市民の割合
・H30:75.5%→R2:78.5%
- 島田市について感じていること
・山や川などの自然環境がよい（67.2%）
・お茶や地場産品は豊かである（54.9%）
・働く場所が少ない（47.0%）
・余暇を楽しむところが少ない（46.7%）

○満足度の高い施策

- ・ごみリサイクル対策
- ・健康の増進
- ・水資源・水環境の保全

11/19庁議、12/10
総務生活常任委員
会で報告後HPにて
公開済み

○満足度の低い施策

- ・魅力ある商店街づくりなどの商業振興
- ・公共交通機関の充実
- ・農林業の振興（生産基盤の整備・後継者育成等）
- SDGsの認知度について
・知っている（名称のみを含む）26.9%

島田市の現状認識

参考：資料2 基礎資料集
P.59~

【島田市の強み（特徴）】

- 豊かな自然と旧東海道の宿場町などの歴史資源
- 広域交通網（空港、高速道路、鉄道等）の好アクセス性
- 県内市部では比較的高い第2次産業の集積度（事業所数、従業者数）
- 子育て施策の充実（第2子保育料半額、第3子無料、人口同規模市比保育所定員充足、こども館など）
- ファミリー世帯などの居住の多さ（単独世帯の少なさ、世帯あたりの人員数の多さ、7年連続子育て世代の転入超過）
- 良好な住宅ストック、住環境・治安の良さ（一住宅あたりの延べ面積の高さ、火災出火件数、刑法犯認知件数が少ないことや交通事故件数の減少）など
- DXの推進

【島田市の弱み（課題点）】

- 人口や世帯あたり人員数の減少傾向
- 少子高齢化の進行
- 中山間地域の人口減少の加速
- 県平均の有効求人倍率と比較して島田管内の有効求人倍率が低位
- 農林業の担い手、後継者不足（基幹産業であるお茶を含め農家総数、耕地面積が減少傾向）
- 中心市街地の衰退
- 資産の老朽化（インフラ、公共施設）
- 低調な財政力（財政力指数が県内市部中で低位置 など）

まちづくりの課題について

計画策定の背景となる社会情勢、市の現状、市民意向等をふまえて、今後のまちづくりにおいて解決する課題の方向性を整理

(SWOT分析の活用)

○成長戦略

- ・文化財など地域資源を活用した観光振興
- ・ふじのくにフロンティア推進エリア設定における都市的土地利用の進展
- ・子育て世代の定住促進と魅力の磨き上げ
- ・「島田市緑茶化計画」の推進
- ・SDGsの取組推進
- ・DXの強力な推進など

○改善戦略

- ・若年世代の市内定住の促進
- ・中心市街地の空き家、空き店舗のリノベーション支援
- ・地域の特産物、観光資源などを活かした商業振興、観光振興
- ・多文化共生社会の実現など

○回避戦略

- ・豊かな自然を後世につなぐ
- ・生産人口のさらなる流入による都市活力の維持
- ・子どもを生み、育てやすい環境づくり
- ・地域の基幹病院となる新病院が救急医療及び災害医療体制を維持
- ・防災拠点としての新庁舎建設
- ・多様な働き方の推進（テレワークなど）

○改革戦略

- ・働く場所や生活利便施設などによる若者流出防止や地域の人口バランスの確保
- ・コンパクト・プラス・ネットワークの推進
- ・市内事業者への支援（事業継続、事業承継）
- ・安定的な財源確保と効率的な行政サービスの実施
- ・人口減少、少子高齢化に応じた公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進など

将来像「笑顔あふれる 安心のまち 島田」の実現に向け、歩みを継続

【参考】望まれるまちの姿についての市民意識の経過（分析）

【市民意向（市民意識調査）】

- ◆R2調査 今後目指すべき島田市像
①医療が充実したまち
②地震対策など災害に強いまち
③活力のある、産業が発展したまち

※参考

- ◆H30調査 今後目指すべき島田市像
①医療が充実したまちづくり
②活力のある、産業が発展したまち
③福祉が充実したまち

【H30調査から重要度が上昇した項目】

- ①森林など自然環境の保全
- ②企業への支援や誘致などの工業振興
- ③再生可能エネルギー活用などによる地球環境の保全

◆R2調査 重要度が高い項目

- ①医療の充実
- ②地震・水害など災害に強いまちづくり
- ③水資源・水環境の保全

※参考

◆H30調査 重要度が高い項目

- ①医療の充実
- ②地震・水害など災害に強いまちづくり
- ③ごみ・リサイクル対策

(R2調査 まちづくりの方法)

- ・市民と行政が協力してまちづくりを進める
70.5% (H30調査 68.8%)